

平成 29 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

総合学科として数多くの社会との接点をとりながら、豊かな心を持ち、自らの生き方を考えて各自の「夢」の実現に向けてチャレンジする主体的な生徒を育てるとともに、希望する多様な進路を実現できる確かな学力が身につく「進学重視の総合学科」をめざす。 1 多様な進路を支える教育活動を展開する 2 ともに学び、ともに育つ心を培う教育活動を展開する 3 自ら将来の夢を描き、それを実現できる生徒を育成する

2 中期的目標

1 確かな学力の育成 (1) 授業の充実（「授業内容に興味・関心をもつことができる授業」「授業を受けて、知識や技能が身に付いたと感じる授業」を行う） ア 授業の「研究協議」や生徒の「授業アンケート」を効果的に活用するとともに、教員間における「授業見学」を行い、授業改善に取り組む。 ※生徒の「授業アンケート」における『興味・関心を持つことができた』『知識技能が身に付いた』等の肯定的な評価の割合（平成 28 年度 83％、85％）を平成 29 年度には共に 85％以上にする。 (2) 自分の意見をまとめ、発表して、相手に（自分の）考えを伝える能力の向上 ※生徒の「総合学科アンケート」における『コミュニケーション能力が身についた』（平成 27 年度 80％）を平成 29 年度には 85％にする。 (3) 自ら学ぶ意欲・姿勢の定着 ア 自主的な学習態度が身につく「勉強合宿」や「一日勉強会」等の取組みを行う。 ※生徒の「学校教育自己診断」における『学習に頑張ってきた』（平成 27 年度 1 年 51％、2 年 76％、3 年 87％）を平成 29 年度には全学年 80％以上にする。 イ 学校行事を通して自主・自立性を育てる。 ※生徒の「総合学科アンケート」における『自主性を伸ばすことが出来た』（平成 27 年度 83％）を平成 29 年度には 85％にする。 (4) 基礎学力の定着 ア 「学力生活実態調査」のリトライ指導を徹底し、「堺東スタンダードテスト」を継続し、基礎学力の定着を図る。 ※「学力生活実態調査」における 1， 2 年生の G T Z を共に B 2 にする。 ※センター試験受験者（平成 28 年度 135 名）を平成 29 年度も 100 名超にする。 (5) 政治的教養をはぐくむ ア 各学年において政治的教養をはぐくむ教育を一層充実させる。
2 安全で安心な学校づくり (1) 人権教育の推進（生徒一人ひとりがそれぞれの個性を尊重しあう集団づくりを行い、人権を尊重する学校づくりを行う） ア 自立支援コースの充実を図り、「ともに学び、ともに育つ」学校づくりを推進する。 イ 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に基づいた指導を行う。 ウ いじめの早期発見・対応、体罰防止など、生徒一人ひとりの人権を尊重する学校づくりを推進する。 (2) 教員の人権意識の高揚 ア 校内人権研修を一層充実する。 ※教員の「学校教育自己診断」における『人権教育の校内研修や学習会は充実している』（平成 27 年度 78.6％）を平成 29 年度には 80％にする。 (3) 生徒の規範意識の醸成 ア インターネット等による人権侵害の防止や交通マナーを遵守する指導を徹底する。 ※生徒の「学校教育自己診断」における『生活指導上のルールを守っている』（平成 27 年度 92％）を平成 29 年度には 95％にする。
3 夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成 (1) キャリア教育の充実 ア「産業社会と人間」「総合的な学習の時間」「志学」「ホームルーム」の四つを通じてキャリア教育を充実する。 ※生徒の「学校教育自己診断」のキャリア教育に係る満足度（平成 27 年度 1 年 77％、2 年 87％、3 年 87％）を全学年 80％以上にする。 (2) 部活動の充実と学校行事への積極的な参加 ア 部活動を一層活性化し、生徒の入部率を上げる。 ※部活動入部率（平成 28 年度 75％）を平成 29 年度には 80％にする。 イ 学校行事への満足度を高める。 ※「体育祭」「文化祭」の満足度（平成 28 年度は「95.2％」「90.9％」）を平成 29 年度には共に 95％超にする。 (3) 生徒の対外活動の活性化と地域連携 ア 本校総合学科の特徴である「堺学」を通じて堺市が主催する各種イベントへ積極的に参加する。 イ 部活動や授業において、地域の行事やボランティア活動に積極的に参加する。
4 開かれた学校づくりの推進と情報の発信 (1) ホームページの充実 ※ ホームページの年間アクセス数（平成 28 年度は 84,000 件）を平成 29 年度は 85,000 件にする (2) 学校説明会の充実 ※ 7 月と 11 月の 2 回オープンスクール参加者計数（平成 28 年度は 1,058 名）を平成 29 年度には 1,100 名超にする

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析〔平成 年 月実施分〕	学校協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
確かな学力の育成	(1) 授業の充実	(1) ア 教員相互の授業公開、管理職の授業観察、研究協議等を通じて授業力を向上させる ・授業公開週間を設け教員相互が授業見学を行う ・管理職が授業改善に係る指導助言を行う ・教員自ら授業アンケート結果を検証し、授業改善を積極的に行う イ 高大連携やインターンシップを充実させる	・教員の授業見学や研究協議への参加率 90%＜H28－86%＞ ・生徒の授業アンケートでの（問8）「授業内容に興味・関心を持った」、（問9）「授業を受けて知識や技能が身に付いた」の満足度 85%＜H28－（問8）83%（問9）85%＞ ・医療系大学高大連携講座参加者 15名＜H28－13名＞ ・総合学科アンケートでの「自己表現や他者理解などのコミュニケーション能力が身についた」85%＜H27－80%＞ ・プレゼンを取り入れた授業を全ての教科で行う ・総合学科アンケートでの「自分で考える力や自主性を伸ばすことができた」85%＜H27－83%＞ ・「進学合宿」「勉強合宿」への参加者が共に 50名＜H28－「進学」51名「勉強」39名＞ ・「学校教育自己診断」の『学習にがんばってきた』全年80%＜H27－1年51%、2年76%、3年87%＞	
	(2) 自分の意見をまとめ、発表して、相手に自分の考えを伝える力の向上	(2) 授業や集会において、自分の考えを発表したり他者の意見を聞いたりする機会を増やす ・授業の中でプレゼンテーションの機会を増やす ・校外の研究発表等に積極的に参加する		
	(3) 自ら学ぶ意欲・姿勢の定着	(3) ア 補習・講習を充実させる ・学年や教科が中心となり、補習・講習を行う イ 校外でのセミナーや模擬試験など、様々な学習行事に自ら参加する姿勢を育てる ・「進学合宿」「勉強合宿」を充実させる ・自習室や進路指導室の活用を促進する		
	(4) 基礎学力の定着	(4) ア 講習等で「学力生活実態調査」のやり直し（リトライ）を徹底し、国・数・英の基礎学力を定着させる	・1年2年共に第2回「学力生活実態調査」の3教科全てG T Z「B 2」＜H28－2年がB 3，1年がB 2＞ ・センター受験者 100名＜H28－135名＞ ・各学年共に「指導計画」書に定められた指導を完了する（1・2年5単位時間、3年3単位時間）	
	(5) 政治的教養をはぐくむ	(5) ア 各学年共に「HR」「授業」「産業社会と人間」等の時間において、外部機関と連携して充実した政治的教養をはぐくむ取組を行う		
安全で安心な学校づくり	(1) 人権教育の推進	(1) ア 「自立支援コース」生徒と一般生徒の授業交流の機会を増やす イ 子どもや保護者から配慮を求める意思表示があった場合は「合理的配慮」を行う ウ 堺支援学校との交流会を一層充実させる	・「自立支援コース」生徒と一般生徒の交流授業を7教科以上実施する＜H28－6教科＞ ・不当な差別的取り扱いを生起させない ・夏の支援学校との交流会への参加者 50名＜H28－40名＞	
	(2) 教員の人権意識の高揚	(2) ア 教職員の人権研修を充実させる イ 支援教育サポート校として他校を支援する ウ 教育相談体制を充実させる	・教員の「学校教育自己診断」における人権教育関連の項目で、校内研修・参画度等の肯定率 85%＜H27－参加率 78.6%＞	
	(3) 生徒の規範意識の醸成	(3) ア 安全で安心な学習環境をつくる ・ネット上のいじめ等が発生しないように情報モラルを育成する ・集会やHRで交通ルール遵守の姿勢を育てる	・生徒向け「学校教育自己診断」の『生活指導上のルールを守っている』95%＜H27－92%＞ ・携帯電話やネット上のトラブルを生起させない	

夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成	(1) キャリア教育の充実	(1) ア 「キャリア教育」を充実させる ・生徒の進路実現に向けて「産社」「志学」「HR」「総合」の有機的な連携を図る ・「志学」において大学や専門学校への説明会等への積極的な参加を図る イ 保育所、病院、老人介護施設へのインターンシップの充実を図り、それぞれの職業への理解を深める	・「キャリア教育」に係るアンケートの満足度 90%＜H27－1 年 77%、2・3 年 87%＞ ・「大学訪問レポート」提出率 2 学年共 100%＜H28－1 年 98%、2 年 100%＞ ・保育所、病院、老人ホームへのインターンシップ参加者数のべ 50 名＜H28－33 名＞	
	(2) 部活動の充実と学校行事への積極的な参加	(2) ア 体罰のない部活動指導を行い、充実した部活動運営を行う ・部活動の入部率を上げる ・地域の中学校との部活動交流を積極的に行う イ 「体育祭」「文化祭」「クラスマッチ」等、生徒が自主運営する学校行事を活性化する ・生徒会活動や各種学級委員会活動を充実させる	・体罰ゼロの継続 ・「近畿大会」以上へ出場するクラブを増やす＜H28－1 クラブ＞ ・部活動入部率 80%＜H28－75%＞ ・中学校との部活交流を行う部活動を増やす（4 クラブ以上）＜H28－3 クラブ＞ ・「体育祭」「文化祭」に係るアンケートの満足度 95%＜H28－「体育祭」95.2%、「文化祭」90.9%＞ ・生徒の各種委員会を毎月 1 回以上行い、活動内容を H P 等に掲載する ・地域の小学生との授業交流を続ける ・「堺学」の授業発表や堺市が主催する各種イベントへの参加を年間 3 回以上行い「学びの質」を高める＜H28－3 回＞ ・地域のボランティア活動への参加者数のべ 150 名＜H28－121 名＞	
	(3) 生徒の对外活動の活性化と地域連携	(3) ア 地元の小学校との交流を充実させる イ 堺市の観光協会や博物館が主催する行事に参加する「堺学」受講生徒を増やす ウ 地域のイベントに参加したり、ボランティア活動に参加する生徒を増やす		
開かれた学校づくりの推進と情報の発信	(1) ホームページの充実を図る	(1) ホームページを頻繁に更新し、学校情報を積極的に発信して在校生やその保護者、中学生やその保護者に必要な情報を提供する	・ホームページへの年間アクセス数 85,000 件以上＜H28－84,000 件＞	
	(2) 学校説明会の充実	(2) ア 在校生が中心になり、体験的なオープンスクールを実施する イ 中学校や塾からの要請による「学校説明会」等に積極的に参加する	・2 回のオープンスクール参加生徒・保護者を合計 1,100 名以上＜H 28－1,058 名＞ ・中学校等からの「学校説明会」の依頼 15 件＜H28－13 件＞	